

福島第一原子力発電所 既設多核種除去設備（C） 吸着塔9C入口カップリング部からの漏えいについて

< 参 考 資 料 >
2020年6月25日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 本日（6月25日）午前10時22分頃、運転停止中の既設多核種除去設備（C）吸着塔9C入口カップリング部（接続）部から水が漏えいしていることを、現場パトロール中の協力企業作業員が発見しました。
- 漏えいした水は既設多核種除去設備C系統の水であり、漏えい範囲は約10cm×約10cmです。
- 発見時、水は30秒に1滴程度で漏えいしていましたが、午前11時20分、漏えいが停止したことを確認しております。また、床面の拭き取りを実施するとともに、念のため、カップリング部について、袋養生を実施しています。
- 漏えいした水は堰内に留まっていること、および敷地周辺モニタリングポスト、連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しており、周辺環境への影響はありません。
- なお、漏えいした水の量が少ないため分析は出来ていないものの、直近（2020年6月2日）における運転時の定例分析結果 1は、セシウム134がND(<1.00Bq/L 2)、セシウム137が9.51Bq/L 2であることを確認しています。
1:分析場所は既設多核種除去設備（C）吸着塔8C出口水、運転時の定例分析において全ベータ測定は未実施
2:値に誤りが確認されたため2020年7月1日訂正（訂正前:セシウム134がND(<1.00×10⁻³Bq/L)、セシウム137:9.51×10⁻³Bq/L)
- 今後、カップリング部から水が漏えいした原因を調査し、適切に再発防止対策を講じてまいります。

